

科目名	ファッションデザイン				担当者	カナ 金 澤 千 晶							
区 分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業 形態	講義	学年	1年	開講期	前期	
				授業時間数	30	時間							
教員との連絡方法 質問等の受付方法	2階204教室（洋裁室）の隣りの研究室にいらして下さい。												
専門的 学習成果	①	ファッションデザインの歴史・過程を知り、各年代のデザイナーを知ることができる。											
	②	洋服のデザイン（シルエット・ディテール）の名称を知ることができる。											
	③	新たなデザインの発想をする力を身に付け、提案することができる。											
	④	フォーマルの場に着用する正しい服装を知ることができる。											
汎用的 学習成果	(1)	資格取得に向けたフォーマルの場に着用する服装の学習を通して、社会的・職業的に自立に繋がる知識を習得し活用できる。（専門的学習成果④に関連）											
	(2)	ファッションのデザインを発想し、デザイン画に表現することを通して、自己表現、他者理解ができる。（専門的学習成果②③に関連）											
	(3)	ファッションデザインの種類や名称を学習することを通して、習得した知識や技能を活用し課題解決に向け行動できる。（専門的学習成果①②③④に関連）											
授業概要	衣服は人間が直接身につけるものであるため、非常に関心が高く、ファッションの個性化が求められる。基礎となるデザインを統計的に習得し、写真やイラストにより視覚的に理解することを目的とした。ファッションデザインの基礎的な知識や豊かで美的なデザイン発想力が養われるよう、デザインの発想法や美的形式原理などについて学ぶ。 また、フォーマルスペシャリスト検定準2級の合格を目指す。												
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準									
	専門的 学習成果	定期試験											
		レポート		10	レポート課題を実施し、講義内容の理解の程度を評価する。								
		小テスト		10	授業内容の理解の程度を評価する。								
		筆記試験		70	第15回目の授業後半に筆記試験形式で行い、全15回分の講義内容の理解について評価を行う。								
		平常点		10	授業の態度・関心・意欲を評価する。								
汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果④で評価を行う。 (2) は専門的学習成果②及び③で評価を行う。 (3) は専門的学習成果①～④で評価を行う。												
テキスト 等	著者・編集者名	書名				出版社名							
	日本フォーマル協会	『フォーマルウェア・ルールブック』				日本フォーマル協会							
参考書 参考文献	著者・編集者名	書名				出版社名							
	飯塚弘子・万江八重子 共著	『服飾デザイン論』				文化出版局							
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①日常的にファッション誌の閲覧やファッションの流行などを意識し（計30時間）、講義内容の理解を深める。また、レポート・筆記試験の準備を行い（計30時間）、理解の定着に努めること。 ②レポートは返却し、解説を行う。												

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	ガイダンス	全15回の内容を理解できたか 資格の内容を理解できたか
	学習成果	取得できる資格について理解し、全15回の授業内容を知ることができる。	
	予習復習の内容	ファッションデザインに関心を持ち、ファッション誌など積極的に読むようにすること。	
2回	授業内容	デザインの意義	レポート（デザイン画制作）
	学習成果	デザインの語彙や歴史、創造性などについて理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	デザインについて理解し、発想ができるようにすること。	
3回	授業内容	デザインの分野	質問を通してデザインの分野を理解できたか
	学習成果	ファッションおよび他業界におけるデザインの分野を理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	デザインを利用する業界を理解しておくこと。	
4回	授業内容	デザインの過程	質問を通してデザインの過程が理解できたか
	学習成果	デザインが生み出され、生産され、製品になっていく工程を理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	一般的なデザインの過程とファッションの工場生産の流れを理解しておくこと。	
5回	授業内容	服装の意味	質問を通して服装の意味が理解できたか
	学習成果	服装の類語および服の役割について理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	専門的な言葉の使い分けができ、服の役割を理解し、説明できるようにしておくこと。	
6回	授業内容	服装の美	質問を通して服装の美が理解できたか
	学習成果	デザイナーおよび服装の美しさについて、その条件を理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	服装の美しさとは何か、内容美と形式美の違いについて理解しておくこと。	
7回	授業内容	美的形式原理	質問を通して美的形式原理が理解できたか
	学習成果	服装が美しく見えるテクニックについて理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	原理の5つのパターンについて、理解し、コーディネートできるようにすること。	
8回	授業内容	点と線のデザイン	質問を通して点と線のデザインを理解できたか
	学習成果	ファッションデザインにおける点と線を利用したデザインの種類と見え方の違いについて理解する。	
	予習復習の内容	点と線のデザインについて理解し、コーディネートの問題解決ができるようにすること。	
9回	授業内容	シルエットとディテール	小テスト（デザインの種類と名称について）
	学習成果	服装全体のシルエットの種類と細かなディテール部分のデザインの種類を知り、説明できる。	
	予習復習の内容	シルエットとディテールの違いとデザインの種類を理解し、説明できるようにしておくこと。	
10回	授業内容	服種と用途	小テスト（デザインの種類と名称について）
	学習成果	フォーマルとカジュアルのデザインおよびTPOに合わせたデザインを知ることができる。	
	予習復習の内容	TPOに合わせた服装を理解し、説明できるようにしておくこと。	
11回	授業内容	アクセサリ	小テスト（デザインの種類と名称について）
	学習成果	ネックレス、帽子、靴や宝石など、デザインの種類を理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	アクセサリのデザインの種類を理解し、コーディネートできるようにすること。	
12回	授業内容	素材の効果性	筆記試験（全15回分の内容を問う）第15回目に実施
	学習成果	柄やテキスタイルによる見え方の違いについて理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	テキスタイルについて理解し、説明できるようにしておくこと。	
13回	授業内容	色彩の役割	
	学習成果	色の基礎、感情、配色、流行色について理解し、説明できる。	
	予習復習の内容	色彩の原理について理解し、配色を利用してコーディネートできるようにすること。	
14回	授業内容	体型とタイプ	
	学習成果	人間の体型の種類、人格のタイプ、コーディネートのタイプについて理解し、コーディネートできる。	
	予習復習の内容	人と服の着装、スタイルについて理解し、コーディネートできるようにすること。	
15回	授業内容	服飾デザインにおける演習・まとめ	
	学習成果	全15回のまとめと筆記試験を行い、ファッションデザインの知識を習得しコーディネートできる。	
	予習復習の内容	この授業の内容全体について整理・確認しておくこと。	